

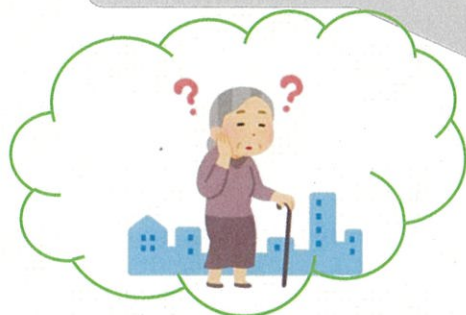


GPSを活用しては いかがですか？



認知症の診断を受けても、
外出させてあげたい

でも、道に迷ったり
家に帰れなくなってしまうたら
どうしよう…



GPS端末を持ていただくことで追跡が可能になり、 安心につながります

- ・キーホルダー型、靴内蔵型、リストバンド型など様々なタイプの端末があります。
- ・ご本人様がいつも持ち歩く物(バッグ等)に端末を付けておきます。
- ・必要な時にスマートフォンやパソコン等でGPSを追跡することで、早期発見につなげることができます。



家族ができる事前の備え ～認知症による行方不明を防ぐために～

- ①「今日はどんな服装か」を覚えておく
- ②本人の上半身(顔がはっきりわかるもの)や全身が写った写真を撮っておく
(1年に1回くらい)
- ③本人がよく行く場所、行きたがる場所や好きな場所を把握しておく
- ④いつも持っているもの(杖、かばん等)や服、靴のよく見えるところに名前や連絡先を書いておく

他にもこんな方法があります

見守りネットワーク事業

・認知症等で徘徊の恐れのある人が行方不明になった時に備えて市に事前登録しておき、行方不明になった場合は見守り協力事業者へ情報提供を求めます。

認知症高齢者等見守りシール事業(どこシル伝言板)

・認知症などで行方不明になった際、衣服等に貼った見守りシール(QRコード)が読み取られると、家族等の登録者へ瞬時にメールが送信され、発見をサポートします。

もしも家族が行方不明になったら…

家族や地域での捜索と同時に

ためらわず警察にも早めに相談しましょう

(時間が経てば経つほど、発見が難しくなってしまいます)

